

第2回宮崎県自転車活用推進に係る検討委員会発言要旨

日 時：令和元年6月27日（木）15：00～17：00

場 所：MRT Micc エメラルドホール

出席者：別紙「出席者名簿」のとおり

【主な意見】

- ・ サイクルツーリズムの取組の所に、マーケティング的視点でのソフト対策を記載できないか検討してほしい。
- ・ 道の駅は自転車利用の重要な拠点。写真を掲載する等の工夫を。
- ・ 宮崎市で実施している矢羽根は左側通行の効果が出てきているが100%ではない。左側通行徹底の啓発を引き続きお願いしたい。
- ・ 災害時の自転車利用に関する社会実験を10月に宮崎市の檉地区で実施予定。
- ・ 西都での散走の取組など情報発信をしっかりと行ってほしい。
- ・ 観光協会でもスポーツキャンプ助成事業をしっかりと取組む
- ・ インバウンドを意識すると英語表記は重要
- ・ 観光協会のHPでの情報発信も協力したい
- ・ 高齢者の自転車活用の一環で免許返納の記載ができないか。
- ・ 宮崎県はタンDEM自転車が公道を走行できる全国的に進んだ取組をしている。タンDEM自転車について記載を検討してほしい。
- ・ 観光地のレンタサイクルに電動アシスト自転車が活用され始めており、自転車活用の重要なツールとなっている。
- ・ 自動車教習所に矢羽根を引いて教習してはどうか。

- ・サイクリストが一番困るトラブルがパンクであり、空気入れがコンビニや道の駅に配備されるとよいと考える。
- ・道の駅に自転車空気入れがあることを我々は知らないので、もっと情報発信した方がよい。
- ・しまなみのような路面標示や標識があると走りやすい。
- ・自転車競技場の路面が悪いので改修をお願いしたい。
- ・交通結節点は特に空港や鉄道駅からの利用を意識して、関係部局と協力ししっかりと取り組んでほしい。
- ・ナショナルサイクルルートの登録を目指して取り組んでほしい。
- ・サイクルトレインの取組は民間で活動しているが、今後、行政と連携し継続して取り組んでいきたいので支援をお願いしたい。
- ・日南海岸サイクルツーリズム協議会でサインや路面標示について検討しているところ。県や市町村と連携し取り組んでいきたい。
- ・市町村への支援やPDCAの取組をしっかりと取り組んでほしい。
- ・市町村のネットワーク路線を国や県も整備してほしい。
- ・シェアサイクルの公共用地の活用、シェアサイクルを利用した人達の経路等ビックデータの活用について記載できないか。
- ・自動車運転者への啓発について記載をしてほしい。
- ・モデルルートの具体的なイメージができるような記載を工夫してはどうか。
- ・隣県と連携した取組も記載した方がよいのではないか。